

29武教教第118号

平成29年7月25日

武蔵野市小中一貫教育検討委員会委員長 殿

武蔵野市教育委員会

教育長 宮崎 活志

これからの武蔵野市における学校教育の目的や目標を踏まえた
小中一貫教育の検討について

このことについて、武蔵野市小中一貫教育検討委員会設置要綱（平成29年6月13日施行）第2条の規定に定める事項について、武蔵野市教育委員会として、下記のとおりお諮りします。

記

1 検討事項

貴委員会には、これからの武蔵野市における学校教育に求められる目的や目標を踏まえた、小中一貫教育と小中別教育との多角的な比較、並びに、その比較を踏まえた武蔵野市における小中一貫教育の実施の是非を御審議くださるようお願いいたします。

なお、比較にあたっては「小中一貫教育調査研究ワーキングチームにおける論点整理」に添付した「参考」に基づき検討願います。

2 検討の趣旨

(1) これからの武蔵野市における学校教育

子どもを巡る社会や家庭の状況が大きく変化する中で、武蔵野市の学校教育には、これまで取り組んできた知徳体のバランスのとれた教育を一層推進することに加え、長年にわたり培われてきた学校と地域社会との絆をさらに強め、教職員、保護者と地域の方々が一体となって子どもたちの望ましい成長を支援

する場としていくことが求められています。

その実現のため、これからの武蔵野市の学校教育の実践と学校整備にあたっては、次の点を目標として取り組んでいく必要があります。

まず、人間力を高め、自分らしい生き方を実現する教育を目指すことです。

「知」については、9年間の連続性・系統性をもった指導を通して、基礎・基本の確実な定着や一生の学びを支える学ぶ意欲の向上により、子どもたちに将来夢や希望をもって力強く歩んでいける力を一層育むことです。

「徳」については、市民性を含めた社会性の向上を図るため、自己有用感を高め、自分の意見や意思をもって行動できる力を伸ばすことで、一人一人の多様性を認め、他者への思いやりの心を育むことです。

「体」については、生涯にわたる健康の保持増進や運動習慣を身につけるため、体育の授業や体育的行事、運動部活動を通じて、運動能力の向上や体力と健康の基礎を培うことです。

部活動については、学習指導要領の趣旨を踏まえつつ、持続可能性の観点から、地域の方々と共にこれを支えることが必要です。特に、運動部活動を地域の方々の支援を得ながら行うことには、地域で子どもを支える仕組みのひとつとしての地域スポーツの実現が期待できます。併せて、学校体育施設が地域のスポーツ施設として位置づけられることにより、市民のスポーツ振興にもつながります。

次に、子どもを巡る様々な支援を要する課題の解決に多様な人材が協働して、「子どもの最善の利益」に寄り添うことができる、総合的な成長支援のプラットフォームとしての学校づくりを目指すことです。

学校の教育機能を一層高めていくとともに、子どもの生活や発達過程で生じる様々な課題を解決する福祉的な機能もより高めていくことにより、学校を子どもの生活や発達過程全般を支える場、子どもにとっての安全・安心な居場所とすることを目指します。

そのためには、教員だけでなく、教育以外の業務を担う多様な専門的人材がともに協働する仕組みが、これからの学校には欠かせません。さらに、上記の地域スポーツの実現をはじめ、学校と地域社会との関係を今後もより強固なものとする必要があります。

(2) これまでの経緯

本市の市立小中学校校舎等の多くは昭和30～50年代に建築され、最も古い施設は築後57年を経過しており、現在は学校施設の計画的な改築について検討す

る時期でもあります。

学校改築という長期的な展望を要する課題に取り組むにあたって、今後は、限られた財源や資源、人材を効果的に重点化して活用し、新たな状況に対応した、安全で快適な教育環境を実現する必要があります。

このため、本市教育委員会としては、武蔵野市学校施設整備基本方針（平成27年5月）に基づき、武蔵野市学校施設整備基本計画の策定を進めており、平成29年2月には「中間のまとめ」を公表しました。

そこでは、学校教育法の改正により、義務教育を行う学校として義務教育学校が制度上の選択肢として新たに位置づけられたことを踏まえ、小中学校別に改築する場合、及び施設一体型義務教育学校として建築する場合、それぞれの可能性を見据えた記述となっています。

この間、教育部内では武蔵野市小中連携教育推進委員会、小中一貫教育調査研究ワーキングチームによる研究が進められてきました。平成29年2月、同ワーキングチームより、11回におよぶ市民との意見交換会や学校、関係者からの意見も踏まえ、小中一貫教育に係る議論のための論点整理が公表されたところです。

(3) 武蔵野市小中一貫教育検討委員会の設置

武蔵野市教育委員会は、学校改築の方向性を定めるべき時期も迫っており、今後、小中一貫教育の実施の是非を定める予定です。そのための検討を行うため、武蔵野市小中一貫教育検討委員会を設置することとしたものです。

以上が、検討事項の趣旨及び経緯です。